

株式会社エンプラス

(証券コード:6961)



よりよき明日を目指して

2025年3月期 (第64期) 報告書  
2024年4月1日から2025年3月31日まで

**enplas**

# enplas

株式会社エンプラス

## Contents

01. 企業理念

02. 株主の皆様へ

04. 連結業績の推移

05. 事業別概況

06. エンプラスのESG

07. 特集 中期経営計画

09. 会社概要/株式情報/株主メモ

10. グローバルネットワーク 国内ネットワーク

巻末. グローバルネットワーク 海外ネットワーク

## 企業理念



### 使命

独創的アイデアを総合技術で価値ある製品に変え、  
より良い未来を支えます

### 経営姿勢

強靱な経営基盤をもとに、創造と挑戦を繰り返し、  
自ら変革し続けます

### 行動指針

信頼こそ全ての基本

- ・謙虚な姿勢と感謝の心を大切にします
- ・公明正大に行動します
- ・新たな価値の創造に挑戦します

# 株主の皆様へ

私たちはソリューションプロバイダーとして、より良い未来の実現に向け、さまざまな企業活動に取り組んでおります。



代表取締役社長 横田大輔

Q

第64期の経営実績、今後の方針についてお話しください。

当連結会計年度の売上高は38,069百万円（前期比0.7%増）となり、営業利益は5,287百万円（前期比13.8%増）、経常利益は5,446百万円（前期比3.5%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は3,943百万円（前期比14.5%増）となりました。

各セグメントの業績につきましては5ページに掲載しております。

当社を取り巻く環境は、世界経済の減速や半導体需要の調整の長期化など、依然として先行きの不透明な状況が続いております。このような状況の中で、当社は持続的な成長の実現のために、成長市場であり人と地球のQOL（クオリティ・オブ・ライフ）を高める領域をEssential領域と定め、この領域への事業ポートフォリオ

の転換を進めてまいります。中でもAIの社会実装に向けた事業機会を最大限に獲得するため、各事業が事業領域を広げ、ソリューションプロバイダーとして顧客価値を創出してまいります。またグローバルガバナンスの強化による信頼と業務品質の向上、グローバルでの企業理念の浸透活動の推進、社員一人ひとりが最大限能力を発揮できる職場環境の実現により、当社グループの経営基盤を強化してまいります。

Q

中期経営計画についてお話しください。

当社はこれまでも社内では中期経営計画を策定しておりました。事業環境が急激に変化する中でも変わらない当社の創業の精神である企業理念、長期ビジョン、中期経営計画を公表することにより、あらゆるステーク

# 株主の皆様へ

ホルダーの皆様にご理解いただき、その結果として当社の企業価値向上に繋がっていきたくと考えております。また、外部環境の変化が激しい世の中で、短期ではなく中期を見ていただく事により、投資家との建設的な対話を促進し、長期的な関係構築を進めたいと考え、2025年4月30日に中期経営計画を公表いたしました。

中長期ではAIの社会実装が進むと考えており、当社の事業機会が増えるの見込んでおります。Essential市場で価値ある製品を提供する事で、長期ビジョン「Key Component Company for Essential Market」を実現し、企業理念の実現に繋がってまいります。また、長期ビジョンを踏まえて「ソリューションプロバイダーとして顧客価値を創出する」を中期経営方針として掲げております。

中期経営計画につきましては7~8ページに掲載しております。

## Q 株主還元についてお願いします。

当社は、健全・堅実な経営により強固な財務体質を堅持するとともに、経営活動の成果を明確な形で株主の皆様へ還元することを基本方針としております。

上記の基本方針と当期の業績等を総合的に勘案し、中間配当については1株当たり30円、期末配当について

は1株当たり40円とし、年間70円を予定しております。

## Q 株主の皆様一言お願いします。

当社は、創業以来、素材開発、プロセスエンジニアリング開発、評価技術開発を推進し、それまで不可能と考えられていたものを製品化、量産化することで、世界中のお客様とともに、豊かな社会の発展に貢献してまいりました。

金属ギヤの代替から始まった当社の事業も、今では、半導体、ライフサイエンス、モビリティ、高速光通信などの幅広い分野に展開し、これまでに培った技術基盤のもとに、お客様の価値向上につながるソリューションを提供しております。

現在、環境問題や、高齢化社会、より高度化する情報社会など、持続可能な未来へ向けた課題が浮き彫りになっています。当社は、人と地球のQOLを高めるEssentialな事業分野において、これらの社会課題を解決し、持続可能な社会に貢献できるソリューション技術の展開、開発を進めてまいります。

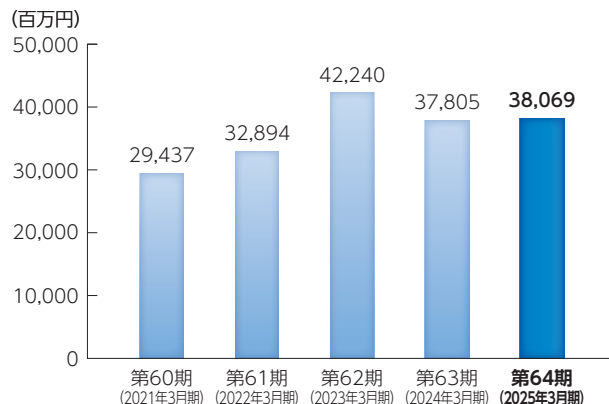
不連続な変化が当たり前におこる現在の世の中においても、変化に即応できるスピード感を持ち、当社の技術力をさらに磨きながら、幅広い産業の未来課題の解決に挑戦してまいります。

今後とも、株主の皆様にはより一層のご支援とご鞭撻を賜ります様、よろしくお願い申し上げます。

# 連結業績の推移

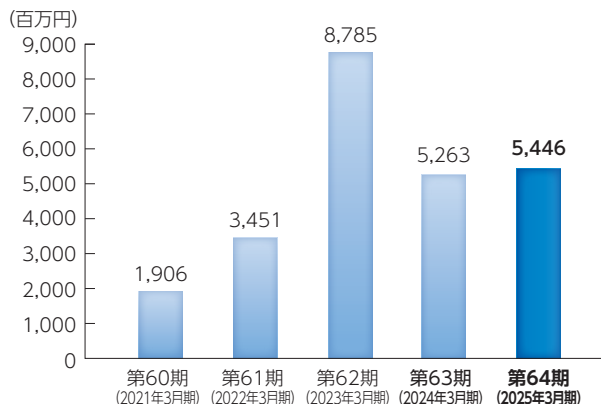
## ■連結売上高

1



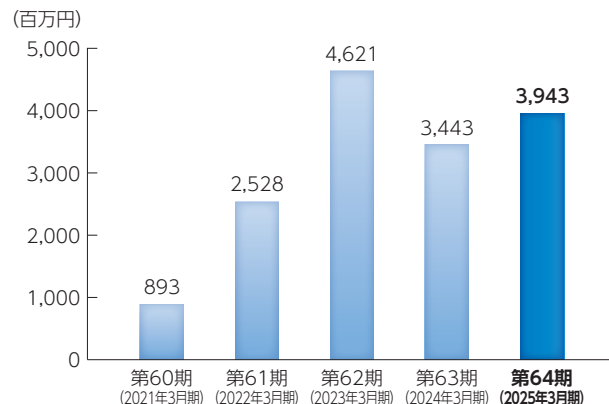
## ■連結経常利益

2



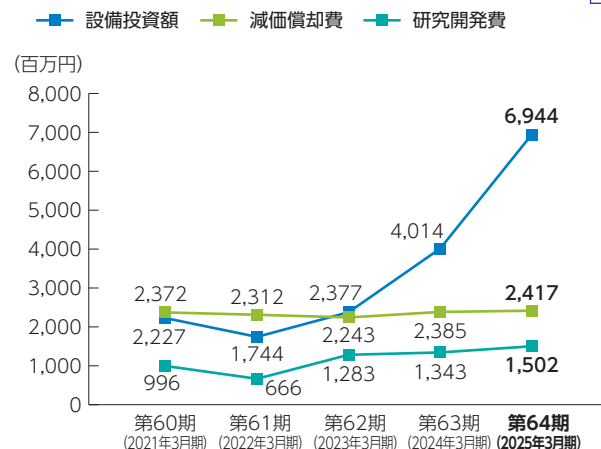
## ■親会社株主に帰属する連結当期純利益

3



## ■設備投資額／減価償却費／研究開発費

4

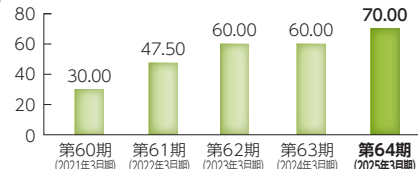


## 株主還元について

**1株当たり  
配当金70.00円**

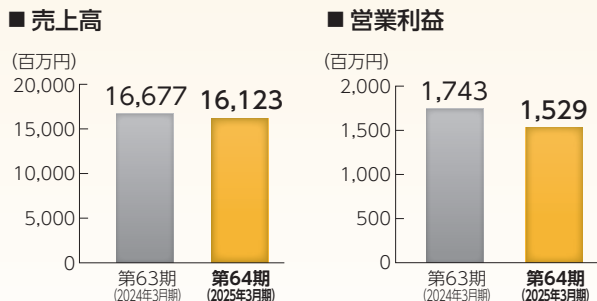
当社では、経営活動の成果を明確な形で株主の皆様へ還元することを基本方針とし、また、安定配当の考え方も取り入れ、今期以降の業績等を総合的に勘案し、中間配当を含む年間配当を70.00円とさせていただきます。

## ■配当金 (円)



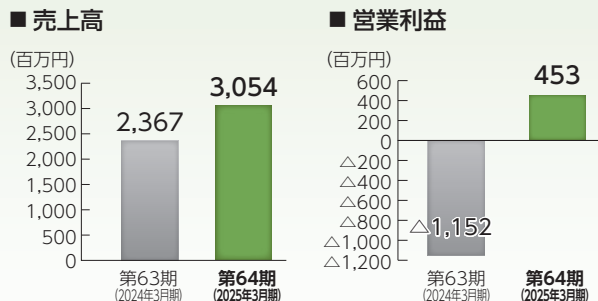
# 事業別概況

## Semiconductor事業



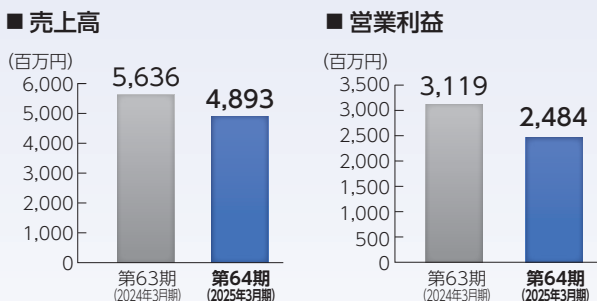
各種ICテスト用ソケット、バーンインソケットは、サーバー用途および自動車用途で市場の落ち込みが継続し、売上高は低調に推移しました。

## Life Science事業



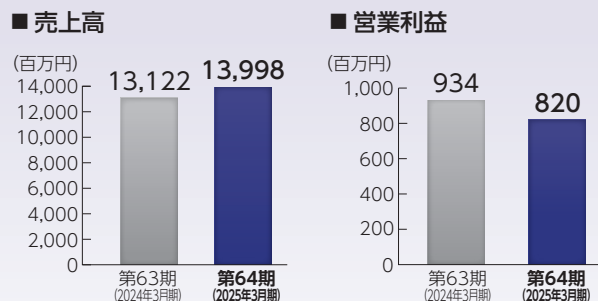
遺伝子検査用製品は、一部既存顧客からの受注の増加および新規量産品の立ち上げにより売上高は好調に推移し、またコスト構造の見直しにより収益性は改善しました。

## Digital Communication事業



光通信関連の光学デバイスは、AI用途等のハイエンド領域において顧客の次世代製品への移行を踏まえた在庫調整等の継続により、売上高は低調に推移しました。

## Energy Saving Solution事業



自動車用部品は、自動車市場が低調に推移したものの、当社が注力する自動車の電装化に対応した低騒音・高効率ギヤソリューションビジネスによる非日系顧客の新規獲得などにより売上高は堅調に推移しました。

※ 2025年3月期よりセグメントの費用配賦の方針を変更しておりますが、2024年3月期は方針変更前の実績にしております。

# エンプラスのESG

## Environment (環境)

### 環境方針

エンプラスは、エンジニアリングプラスチック及びその複合材による、高精度・高機能プラスチック精密機構部品・製品の開発、製造、販売に関わるあらゆる面で、地球環境の保全を企業の果たすべき重要な課題として捉え、その保護活動に積極的に取り組みます。

1. 環境目標を設定し、それを達成するために全社的な環境管理システムを構築し、継続的な改善向上を図ります。
2. 業務の合理化や改善等を通じ、環境負荷の低減・省エネルギー（電力使用量等削減／CO<sub>2</sub>削減）を推進します。
3. 廃プラスチックの削減と再資源化を推進します。
4. サプライヤーとの協働により調達品の環境負荷低減に努めます。
5. 環境規制や環境協定等を順守します。
6. 企業活動から汚染を排出しないようその予防に努めます。
7. 社会の一員として、地域の環境保護や維持に貢献します。

### 《適用範囲》

組織の単位・物理的境界	区分	適用範囲
エ ン プ ラ ス	グローバル本社	自己宣言
	本社	自己宣言
	鹿沼工場	審査登録
国 内 グ ル ー プ 会 社	株式会社エンプラス 研究所	自己宣言
	株式会社エンプラス 半導体機器	自己宣言
	QMS株式会社	自己宣言

## Social (社会)

### エンプラス品質方針

お客様に感謝されるより良い品質の製品とサービスを提供します。

1. エンジニアリングプラスチックを基盤とした総合技術による確かな品質で、世界市場のニーズに応え、社会の発展に貢献します。
2. 法令、規制、お客様の要求事項を遵守し、お客様から信頼を得られるよう行動します。
3. 品質マネジメントシステムの継続的な改善により、あらゆる変化に対応できる品質基盤を堅持します。

2020年6月10日改定

## Governance (ガバナンス)

### コーポレート・ガバナンスの基本的な考え方

当社の経営方針・企業精神・企業倫理を具現化したものが企業理念であり、社会の発展に寄与すべき企業使命を明確にするとともに当社のコーポレート・ガバナンスの基本原則となっております。その企業理念に基づき、持続的な企業価値の向上を実現する為に、「エンプラス コーポレート・ガバナンス ポリシー」を制定し、コーポレート・ガバナンスの継続的な充実に取り組んでおります。

Now  
(現在)

Phase 1.

Buildout (構築)

## AIインフラの構築

当社はAIの社会実装をチャンスと考えており、AIの社会実装へのロードマップの中で、現在はAIインフラの構築のステージにあると考えております。

Phase 2.

Adoption (適用)

## ヒト・企業・社会への採用・適用

今後、段階的にヒト・企業・社会への採用・適用が進むと考えております。

Phase 3.

Transformation (変革)

## 大幅な生産性向上

最終的には大幅な生産性向上に繋がる社会の変革が行われると見込んでおります。

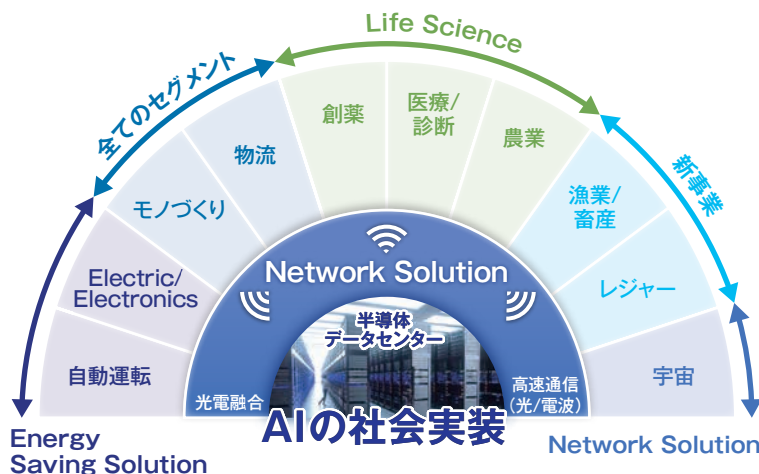
Beyond  
2030

Phase 3.

Transformation (変革)

## あらゆる分野で 自動化・効率化が進む

AIの社会実装が自動運転、電気/電子、モノづくり、物流、創薬、医療/診断、農業、漁業/畜産、レジャー、宇宙などあらゆる産業に影響を及ぼすと考えております。当社はコアコンピテンシーをベースに総合技術を用いて、世の中に求められるモノを提供してまいります。



世の中の変化が激しい中で、どのような状況になったとしてもAIの社会実装は進むと考えております。AIの社会実装が様々な産業に影響を与える中で、当社にとっての事業機会が拡大すると考えており、「AIの社会実装に向けた、より良い明日を創ることに貢献する」ために、長期ビジョンを掲げました。

### 長期ビジョン

## Key Component Company for Essential Market

**目的** 我々はAIの社会実装に向けた、より良い明日を創ることに貢献する

中長期ではAIの社会実装が進むと考えており、当社の事業機会が増えるを見込んでおります。Essential市場で価値ある製品を提供する事で、長期ビジョンを実現してまいります。

### 中期経営方針(2026/3期-2028/3期)

## ソリューションプロバイダーとして顧客価値を創出する

**スローガン** One Enplas for Growth

### 2028年3月期 財務目標

売上高	営業利益	ROE
<b>50,000</b> 百万円 (CAGR 9.6%)	<b>8,000</b> 百万円 (営業利益率16.0%)	<b>9.0%</b> 以上

長期ビジョンを踏まえて「ソリューションプロバイダーとして顧客価値を創出する」を中期経営方針として掲げております。AIの社会実装に向けた事業機会を最大限獲得するため、セグメント別用途開発のマーケティング投資を拡大し、市場の変化に対してタイムリーなソリューションを提案する事で、エンドユーザーの課題解決に貢献してまいります。また、各事業が事業領域を広げ、BUを細分化し、それぞれがスタートアップカンパニーとしてニッチトップを目指してまいります。主要財務目標として売上高、営業利益、ROEを掲げ、持続的な成長と企業価値向上を実現してまいります。

# 会社概要 / 株式情報 / 株主メモ

(2025年3月31日現在)

## 会社概要

商号 株式会社エンプラス  
所在地 埼玉県川口市並木2丁目30番1号  
設立 1962年2月21日  
資本金 80億8,045万円  
従業員数 1,478名(連結)

(2025年6月26日現在)

## 取締役

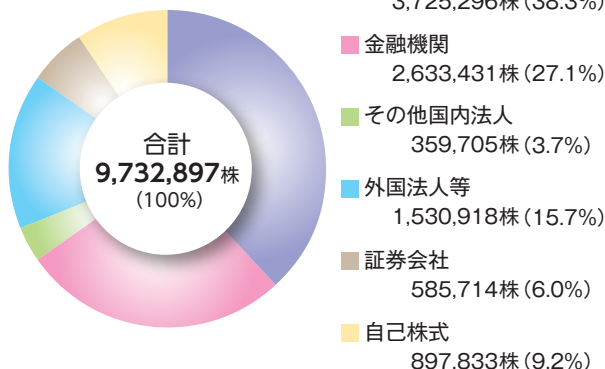
代表取締役社長	横田 大輔
取締役兼専務経営執行役員	椎名 聡
取締役兼経営執行役員	藤田 慈也
社外取締役	赤塚 孝江
社外取締役(監査等委員)	井植 敏雅
社外取締役(監査等委員)	久田 眞佐男
社外取締役(監査等委員)	天羽 稔
取締役(監査等委員)	沓沢 茂雄

(2025年3月31日現在)

## 株式情報

発行可能株式総数 62,400,000株  
発行済株式総数 9,732,897株  
株主数 4,411名

### 所有者別株式分布状況



## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年の3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号
郵便物送付先、連絡先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 (お問い合わせ) ☎0120-288-324
基準日	定時株主総会の議決権 3月31日
公告方法	電子公告 ( <a href="https://www.enplas.co.jp/">https://www.enplas.co.jp/</a> ) ただし、電子公告によることができないときは、日本経済新聞に掲載する方法とします。 貸借対照表、損益計算書は、決算公告に代えてEDINET ( <a href="https://disclosure2.edinet-fsa.go.jp/">https://disclosure2.edinet-fsa.go.jp/</a> )にて開示しております。
上場金融商品取引所	東京証券取引所

# グローバルネットワーク

## 国内ネットワーク

### グローバル本社

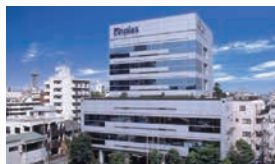
東京都千代田区丸の内1丁目6番2号 新丸の内センタービルディング9F

### 本社

埼玉県川口市並木2丁目30番1号



東京都  
・グローバル本社  
京都共創センター



本社



鹿沼工場



株式会社エンブラス半導体機器



QMS株式会社



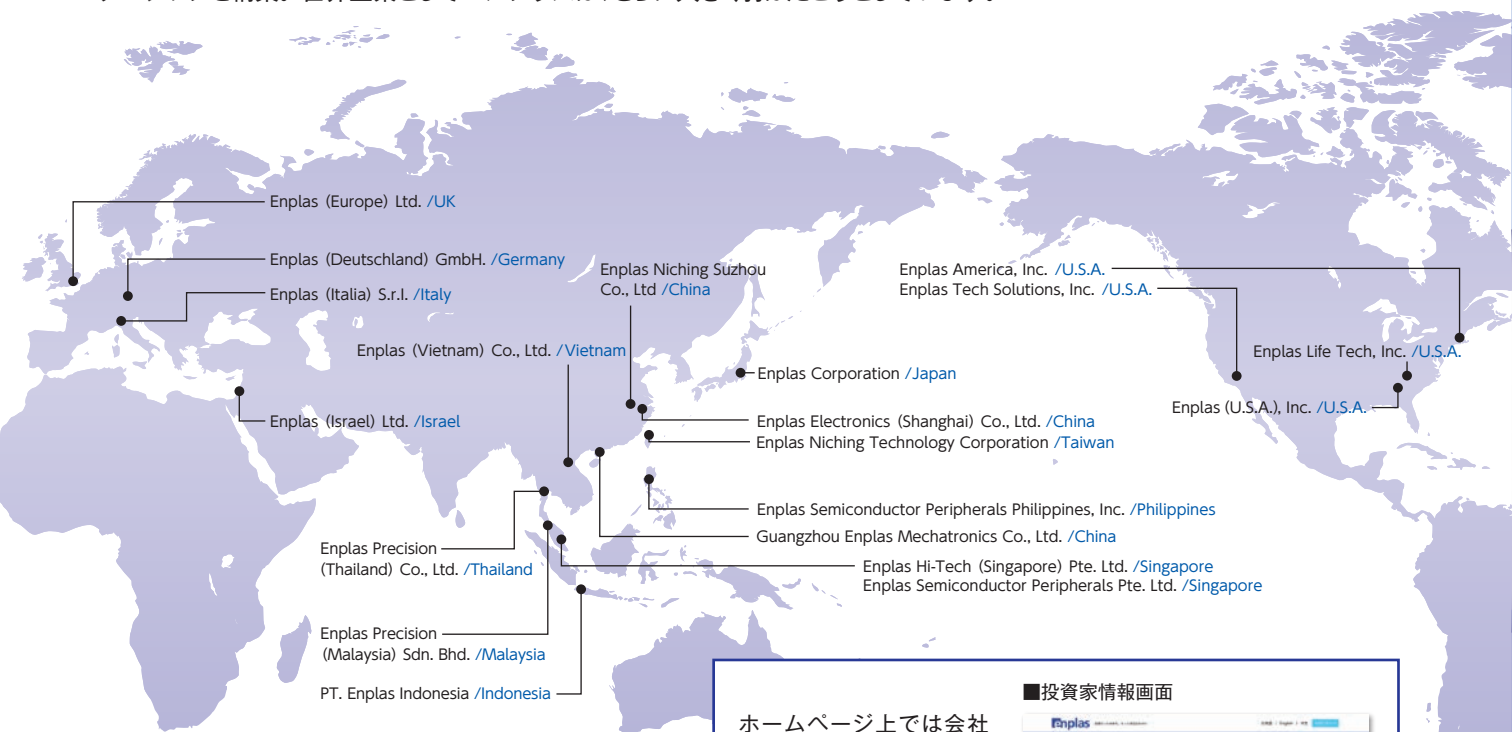
株式会社エンブラス研究所

# グローバルネットワーク

## ■ 海外ネットワーク

### 技術の絆。信頼の絆。活躍の舞台はグローバルです。

アジア、アメリカ、ヨーロッパにある世界拠点を結ぶグローバルネットワークによって24時間稼働し続ける「エンプラス」グループ。こうしたグローバルネットワークを通じて、企画・開発段階から、各産業界のトップメーカーと技術に裏打ちされた信頼のパートナーシップを構築。世界企業としてエンプラスは、さらに大きく羽ばたこうとしています。



## 株式会社エンプラス

〒332-0034 埼玉県川口市並木2丁目30番1号

Tel : 048-253-3131 (代表) Fax : 048-255-1688

<https://www.enplas.co.jp/>

UD FONT

見やすいユニバーサル  
デザインフォントを採用しています。



■ 投資家情報画面

ホームページ上では会社概要、財務情報をはじめ業務内容やプレスリリースなど最新の情報を幅広くお知らせしています。ぜひご覧ください。

エンプラス IR 検索

投資家情報画面のスクリーンショット。上部には「投資家情報」のタブがあり、その下に「会社・投資家の皆様へ」という見出しがあります。その下に、投資家向けに提供される情報（財務情報、IR情報、IRツール等）に関する説明が記載されています。また、右側には「横田大樹」のポートレートと「IR担当」の役職が示されています。